



図書館員のおすすめ本



小学生

低学年（1・2年生向け）



『は歯のはえかわりのなぞ』

北川 チハル 文

ながおか えつこ 絵

／くもん出版

【内容紹介】

そうたくんは、歯がぐらぐらしてぬけそう。

「どうしてはじめてからえいきゅう歯がはえないの？」

にゅう歯からえいきゅう歯にはえかわるしくみを、さくらさんがわかりやすくおしえてくれます。知ると、びっくりするけど、おもしろいですよ。

【図書館員からのコメント】

歯の正しい知識がわかる絵本のシリーズ（全6巻）は、家族で読むのもおすすめです。いくつになってもおいしく食事ができるように、歯を大切にしたいと思う絵本です。

中学年（3・4年生向け）



『量子力学体験ツアー

宇宙の果てへ』

はばなおゆき 作、うのあつみ 絵

／小峰書店

【内容紹介】

発明家のパパが発明したワープマシンで

宇宙の果てめざして大冒険！広大な宇宙に広がる洗剤の泡みたいなのはいったい……！？最新の宇宙を大公開！

量子力学の研究者が本物の知識を子どもたちにつたえます！

【図書館員からのコメント】

『宇宙』という難しい話なのではと思ってしまうのですが、「空が青いのはなぜ？」などの身近な疑問についての説明もあり、楽しく読みすすめることができます。

高学年（5・6年生向け）



『東大×ナゾトキ×ゲームブック 1

東大×ナゾトキ×ゲームブック

ハテナ王国の冒険 竜と魔法の書』

東京大学謎解き制作集団 AnotherVision

／謎制作

志田もちたろう/文 佐久間さのすけ/絵

／フレーベル館

【内容紹介】

突然姿を消した親友の声に導かれて、ゲームの世界に！キミは謎を解いて、ミッションをクリアし、この異世界から脱出できるか!? 東大謎解き制作集団AnotherVisionが挑む、謎解きゲームブック！

【図書館員からのコメント】

正解しないと先に進めないのが、まるでゲームをしているようなナゾトキ本です。ストーリーもおもしろく、1ページ目から物語の世界に引き込まれてしまい、謎解きも読書もどちらもじっくり楽しめます！

中学生



『逆境に負けない力をつける！

ことども菜根譚』

齋藤 孝 監修

すがわら けいこ イラスト

／日本図書センター

【内容紹介】

困難に打ち勝つための人生のバイブル『菜根譚』をことども向けに超訳！オールカラー・総ルビなので親子で読むのにぴったりです。

【図書館員からのコメント】

この本は、中国で生まれた本ですが、現代を生きる私達にとっても、役立つ知恵がたくさんつまっています。今はまだ理解できなくても、いつか、「あのことばは、こういう意味だったのか」と気づく瞬間が、きっとやってくるでしょう。



『「感じ」が伝わるふしぎな言葉』

佐藤 有紀：著／少年写真新聞社

【内容紹介】

わんわん、ぴたっ、かつかつ、じーん…
…これらはみんな「擬音語・擬態語」とよばれる言葉です。短いフレーズなのに、何故か「感じ」や「気持ち」がうまく伝わる

「擬音語・擬態語」を使いこなして、日本語の達人を目指しましょう！

【図書館員からのコメント】

日常的に使用している「擬音語・擬態語」ですが、その歴史や使い分けなど、読んでいてなるほどと感ずることが多くありました。「擬音語・擬態語」を使用せずに表現するとどうなるのかなどと考えることも楽しかった1冊です。



『バクテン!! 上・下』

根元 歳三 文

四ツ木えんぴつ原作

／講談社

【内容紹介】

中学3年生の夏、翔太郎は男子新体操の演技を見たことをきっかけに、新体操に魅せられる…。悩みを抱えながらも、個性的な仲間と練習を重ね、今まで知らなかった自分を見つけることに…。大切な人たちとの出会いの中で、かけがえのない居場所、時間を描く青春部活小説。

【図書館員からのコメント】

主要人物の名字には宮城県の地名が使われていて、どこか親しみやすさを感じます。部活で体験する楽しさや辛さ、友人や先輩との関わりなど、共感することが多く、一生懸命一つの目標に向かってひた走る姿に胸が熱くなります。